



人権とルール

南小学校 六年 平川 結望^{ゆの}

私は、最近起きた日本での銃撃事件のニュースを見て、考えたことがあります。それは「命と人権を奪うことは絶対に許されない」ということです。なぜなら、日本には「日本国憲法」という人権を守るきまりがあると社会科の学習で学んだからです。

憲法には、「国民主権」、「基本的人権の尊重」、「平和主義」という三原則があります。「基本的人権の尊重」は、すべての人に、人として生きる権利があり、それが憲法で守られているというものです。これは国のルールなのです。学校にもルールがあります。学校のルールは、学校みんなが安心して過ごせるように守らなければいけません。国のルールも同じで、日本のみんなが安心して過ごすためには、みんなが守らなければいけないのです。だからルールを破って、暴力で人の命や人権を奪うことは、とても重い罪だし、間違っていると思います。

また、人権には、「生きる権利」、「参加できる権利」、「守られる権利」などがあると、全校朝会の校長先生のお話から学びました。お話を聞いた時、私は外国で起きている戦争のことを考えました。戦争は、国と国ともめ事を武力や暴力で解決しようとする、とても悲しいものです。それに、争いを起こした人の勝手な思いで、争いと関係のない人までたくさん犠牲になり、多くの命や人権が奪われています。その人たちの命や人権はだれが守らばいいのでしょうか。



私は、これから、まず学校のルールを六年生として守り、日本のルールである「日本国憲法」をもっと理解して守りながら、将来の夢に向かってがんばっていくように思います。

【先生のコメント】
結望さんは、とても真面目で向上心が高く、どの教科の学習でも、自分の考えをしっかり持って学習しています。今回の人権啓発作文の取り組みでも、社会科の授業で学んだことを自分の生活と関連づけて考えることができています。「日本国憲法」が何のためにあるのか。自分たちの生活とどう関わっているのか。さらにそれを、南小のルールの意味と結び付け、ルールを守ることに、みんなの安心や安全につながることを、ひいてはみんなの命や人権を守ることに繋がると訴えています。

これからも、六年生の自分のできることを考え、学級の友達と協力しながら、みんながルールを守り、さらに安心・安全に過ごせる南小を作ることを願っています。

人権相談(無料)

〜ひとりで悩んでいませんか〜

【人権何でも相談所】

- 日時 9月21日(水)午後1時〜4時
- 場所 山川市民センター
- 相談内容 いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・相隣間のもめごと、悩みごとなど

【女性相談所】

- 日時 9月8日(木)午前10時〜午後3時
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談内容 原則として女性からの相談 ※女性の人権擁護委員が相談に応じます

【常設相談】

- 時間 午前8時30分〜午後5時15分 (土、日、祝日を除く)
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談担当者 法務局職員または人権擁護委員
- 相談電話番号 (TEL)0570-003-110
- 福岡法務局柳川支局 (TEL)72-2640



「Flower Shop&Planning 貴咲」
小野 貴代美^{きよみ}さん

小学校の卒業文集に「花屋さんになりたい」と、夢を書いた小野さん。21歳からフラワースクール講師を始め、縁あって高田地区で「Flower Shop 貴咲」を開業。昨年10月には「花屋にカフェ」としてリフレッシュオープンを迎えた。

花と、カフェ
「小学生の頃、母の日の花束を買いに行った花屋さんが、抱えきれないくらい大きな花束を作ってくれました。そんな思い出があるから花屋さんを夢見たのかもかもしれません。それから19歳の時に訪れた花カフェ。植物の次に料理をすることが好きだった私にとって、本当に夢のような空間でした。今でも、花カフェの様子を

鮮明に覚えています。当時見た夢を良い夢にするため、試行錯誤しているところです」
若い世代に繋げる思い

小野さんは、貴咲の傍ら「モダン屋結納」も営む。

「家業を継いだ結納店は、創業100年を迎えました。若い世代に、結納をすることの意味を知って人生の節目の行事を大切にしたいと思っています。小さくていいから結納という文化を続けて欲しい。その思いで、オリジナルのフラワーで装飾したモダン結納を始めました。ネットでの販売を始め、北海道や沖縄から注文を頂くこともあります」
小野さんの根底にあるもの

フラワーショップやスクール、カフェ、結納と忙しい日々を送る小野さん。
「自分は何屋さんなんだろうと考える日もあるけれど、全ての根っこにあるものは「人が暮らしていく上で大切なこと」だと思えます。貴咲に訪れた時間が、皆さんの大切な時間になれるよう、スタッフ一同努めています」
そう語る小野さんの笑顔は輝いていた。



おの きよみ
エノコログサが好きです。線の細い植物が、そよそよゆれている姿をずっと見ていられます。
【座右の銘】
自然体で生きる。マイペースに、気負わずに、ゆったりと生きていきたいです。

みやま文芸

高田町句会

- 妖怪のやうに水電陸歩く 板橋 寿
- 河骨は竜改心の姿とて 岩屋 清美
- 三畳の舞台引き出す踊り山車 紙田 幻草
- 萎ゆるごとピタリと止まる蝉時雨 猿渡 洋子
- 青空を乗せてあめんぼ滑走す 西山ワカ子
- 出勤の背に降るごとし蝉の声 野田 憲二
- なほ癒えぬ渴きし心長崎忌 野田岳比古
- 鬼灯の色競ひあふ朝の市 松尾 光恵



※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。